

## 九州大学新聞

<https://hdl.handle.net/2324/1520552>

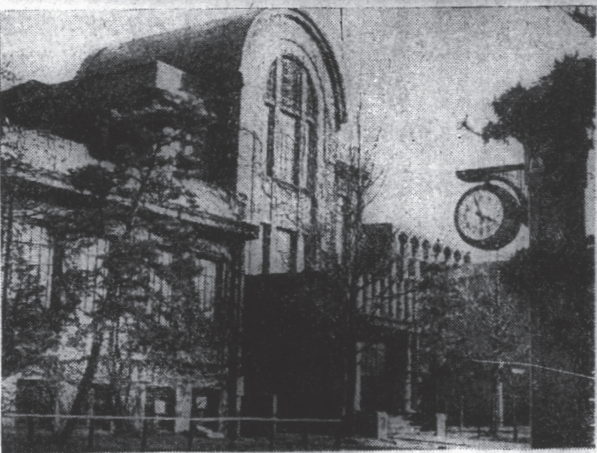
---

出版情報：九州大学新聞. 366, 1955-03-25. 九州大学新聞部  
バージョン：  
権利関係：





# 社会=卒業=学園



「卒業」この簡単な二字の中に、私達は非常に多く、そしてさまざまな問題を見出す。多くいわれるのは「学園の外に社会は、今までと違った生活態度が要求される」ということ、即ち「学園の延長上に社会はなく、学園と社会に断絶がある」ということである。これは何を意味しわれわれに何を問うのであろうか。

## 劣等感払拭が先決

平田貞次郎

提言の第一は、劣等感の払拭である。劣等感とは、自分が他人に比べて劣っているという心理状態のことである。この劣等感を持つと、人は自分の能力を十分に発揮できず、社会生活に積極的に関与することができない。したがって、劣等感を払拭することは、社会生活を送る上で先決条件である。

劣等感の払拭には、まず自己の能力を客観的に評価することが必要である。自分の長所と短所を認識し、自分の能力を伸ばす努力を怠らなければならない。また、他人との比較を減らし、自分の成長に集中することも重要である。

現場での仕事の概念を追求

矢部川久美男

現場での仕事とは、単に機械を動かすだけでなく、その背後にある社会的意義を理解し、責任を担うことである。現場で働く者は、自分の仕事を通じて社会に貢献し、自己の価値を証明する責任がある。

捨てたい特権意識

理想の敗北は学生生活に遠因

寺沼敏夫

学生生活を送る上で、特権意識を捨てることは非常に重要である。特権意識とは、自分が特別な権利を持っているという意識であり、これは社会生活を送る上で大きな障害となる。理想を追求するためには、特権意識を捨て、平等な立場で社会と向き合う必要がある。

先ず第一に

社会生活を送る上で、第一に必要なのは、自己の能力を高めることである。自己の能力が高まれば、社会生活を送る上で必要となるさまざまな課題に対処することができるようになる。したがって、自己の能力を高めることは、社会生活を送る上で最も重要な第一歩である。

女立の立場

現代社会において、女性が自立した立場で生きていくためには、自己の能力を高め、自己の責任を担う必要がある。女立の立場とは、自己の能力と責任をもち、社会生活を送る上で自立した存在であることである。

それでも地球は廻っている

一九五五年三月の手紙

正田誠一

地球は廻っている。それは、私たちが生きていく上で最も確かな事実である。地球の廻りは、私たちの生活と密接に関連しており、私たちの未来を決定づけている。したがって、地球の廻りを理解し、それに適応することは、私たちの生存にとって不可欠である。

これは

これは、私たちの生活における最も重要な要素の一つである。これは、私たちの価値観や信念を形作るものであり、私たちの行動を導く力となる。したがって、これは、私たちの人生を送る上で最も重要な要素である。

君はよ

君は、自分の人生を送る上で、最も大切な人である。君は、自分の人生を豊かにし、自己の価値を証明する責任がある。したがって、君は、自分の人生を送る上で、最も大切な人である。

私は大

私は、自分の人生を送る上で、最も大切な人である。私は、自分の人生を豊かにし、自己の価値を証明する責任がある。したがって、私は、自分の人生を送る上で、最も大切な人である。

記録映画の秀作

鉄路の闘い

Bataille du Rail

監督 ルネ・クレマン

独立配給

陽春に贈る感動の名作豪華番組

3月30日2本立独占切

4月6日秀作2本立公開

女性 佐久間ダム

裸足の伯爵夫人

文化 狂熱の孤独

祝 御卒業

情熱と知性で理想をめざす九州大学新聞

九州大学新聞

昭和二年創刊

御購読お願い

九州大学新聞は学生を中心として、父兄、卒業生、九大教職員の皆様に向けて編集致しております。

購読料は次の通りです。

一年間(送料共) 三百円

半年間(送料共) 百五十円

月同割(送料共) 百五十円